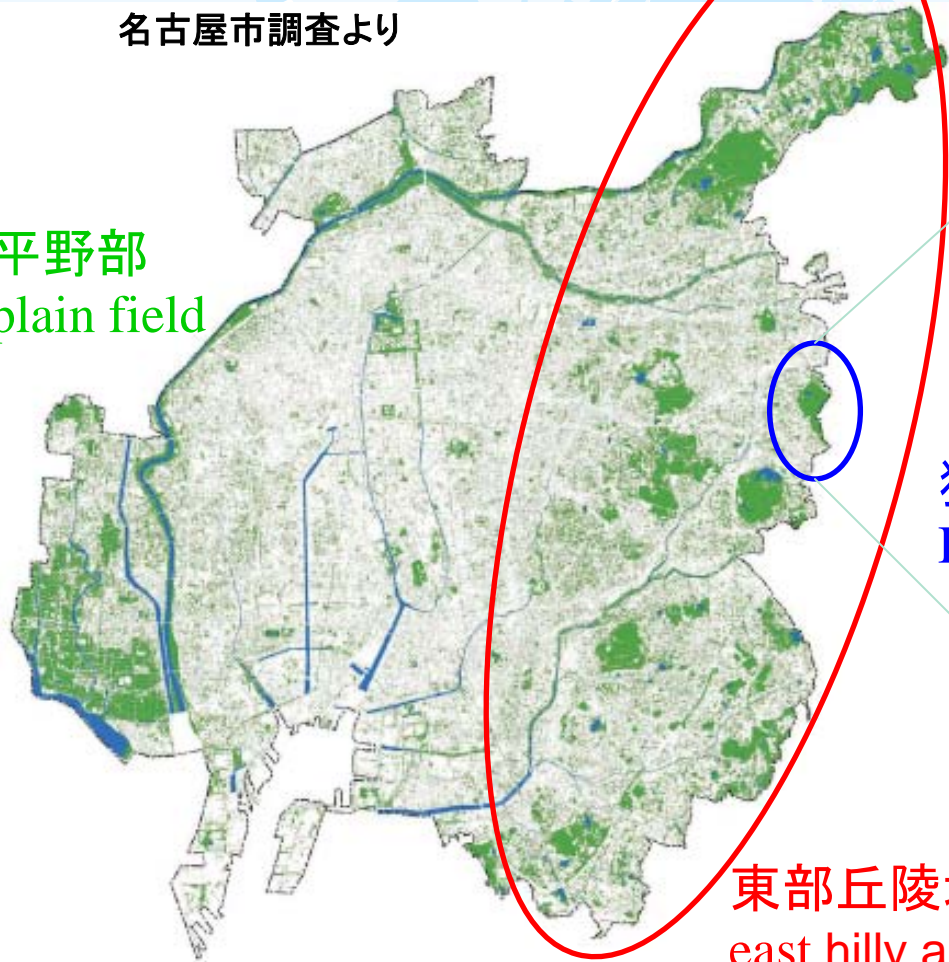


# 竹炭窯 Bamboo Charcoal Pit

(猪高緑地 Itaka Ryokuchi)

緑被地現況図 2005年  
名古屋市調査より

平野部  
plain field



学習センター

猪高緑地  
Itaka Ryokuchi

東部丘陵地  
east hilly area



炭焼き

棚田

GoogleEarthより

# 竹 1/4

- 竹は生長が早い

- 竹は地下茎を利用して(栄養が周りの竹から送り込まれる)1年でその竹特有の高さまで成長します。
- 他の木の上に、一気に葉を展開する事ができます。
- その為、雑木林の他の種を押さえ、竹だけの単一な竹林になって行く傾向があります。
- 中国からの外来種、孟宗竹は特に高く高さ20mに達する物もあります



# 竹 2/4

- 竹は貴重な資源だった

- 竹の子 貴重な食料

- 現在は、海外産に押されて取られずに放置されている。  
⇒ 竹林の中は過密状態になり、竹林の周りに盛んに竹の子を出して雑木林を圧迫している。

- 貴重な材料

- 各種籠、竿(刈り取った稲をほしたり、物干し竿)
- 建築材料(例:土壁の骨)
- 燃料

- 人間が竹を切って利用する事により、竹が広がり過ぎ、単一の植生になる事を防いでいた

公園や緑地の植物を勝手に切ったり掘り取ることは**禁止**されています。  
名古屋市等管理行政と**協定**を結んだNPOは、その範囲で活動しています。  
名東自然倶楽部は名古屋市と猪高緑地を対象に  
「緑のまづくり活動に関する協定」を結んで活動しています。

# 竹 3/4

## ● ボランティア

- 各緑地で竹を切って多様性を保っています。
- 特に猪高緑地では切った竹で炭を作っています。しかしそれだけではとても使い切れません。出口(使用先)を考える事は重要な課題です
- 盗掘(勝手に竹の子を取る人)の後の穴が有って作業が危険と言う問題も生じています



# 竹 4/4

- 名東自然倶楽部の竹利用
  - － 炭焼きグループ 竹炭作り
    - 活動日 11月～5月の第2土曜日 9:00～
  - － 竹とんぼグループ 竹を利用したものの作り
    - 活動日 第4土曜日 9:00～
  - － 市のイベントに協力
    - 竹林整備体験 竹の間伐、筍堀
  - － その他
    - 門松作り



# 竹の種類

- 猪高緑地には主に3種類の竹が生えています

- 真竹(マダケ)

- 高さ20m、太さ15cm
- 節が二重



- 孟宗竹(モウソウチク)

- 高さ25m、太さ20cm
- 節が一重



- 淡竹(ハチク)

- 高さ15m、太さ10cm
- 稈の色 緑色で白粉がある
- 節が二重



(高さ太さはその種類の最大の大きさを示します)

# 竹炭を焼く順序と煙の色・温度

炭焼き順序	火入れ	炭化開始 (自燃)	炭化終了 (精錬)	窯を閉じる	
時間	1～2時間	5～6時間			
煙の色	白色 (濁)(濃)	灰色 黄色	白色	青色	無色
煙の 出口温度	75～80℃	～120	～150℃	～	300℃以上
通風口 煙突口	全開	煙を見ながら 温度が下がらない様 煙突、焚口を調整する			全閉